

新しい年の歩み

校長 大岩 厚

2021年、皆さんはどのような正月を迎えられましたか。大晦日から元日にかけて、たった一日が過ぎただけなのに、すべてが新鮮な気持ちになれる「年越し」という日本の風習は、先人から受け継がれた大切な知恵だと思います。皆さんも、元日には気持ちを新たに、思いを込めて2021年の目標を立てたのではないのでしょうか。社会の情勢は著しく変化していますが、そんな中でも、小さくても良いので自分の目標を持ち、それを目指してもらいたいと思います。

聖書には、『わたしたちの「内なる人」は日々新たにされていきます。(第二コリント4:16)』と記されています。私達は、心の持ち方次第で、日々新鮮な気持ちになって生きていくことができる、という事も示されています。

正月といえばもうひとつ、皆さんの楽しみとして「お年玉」がありますね。今年は、離れた所に住む祖父母に会えなかったり、親戚が集まらなかったから、いただいた「お年玉」が少なかった、という方もあるかもしれませんね。

私達が生きていくために、ある程度のお金は必要です。社会に出て働くことの大切な意義の一つに、「働く」対価として収入を得る、ということがあります。

テール・カーネギーの著書「道は開ける」で紹介されているアメリカの大富豪ロックフェラーの話。彼は、若くして石油ビジネスで成功して巨万の富を築いたものの、ビジネスで犠牲にしてきた人々からの恨みやねたみにより、精神的な安定を得られず、50歳代で体調を崩し、希望の持てない日々を過ごしていた。ところが、得た収入を基に財団を設立して、人のためにお金を使うと喜んでもらった。人に幸せになってもらう事で、自分が幸せになる事を知り、彼は長寿を全うした。

「働く」ことは、「はた(周り)を楽にする事」とも言われます。自分だけの幸せではなく、周りの人の幸せも考えていくこと、それは、活水中学・高等学校のキャッチコピー「私、輝く。ともに、輝く。」につながっているように思います。

昨年末、皆様からいただいたクリスマス献金を、それを必要としている施設や団体に送らせていただきました。皆様の献金に心から感謝申し上げます。

新しい年も、日々活かされていることに感謝しつつ、誠実に歩んでいただきたいと思います。

高校生条例案コンテストに3組入賞

12月20日(日)、活水女子大学主催による「第1回高校生条例案コンテスト第2次審査」が開催され、本校から3組が出場し、それぞれ賞を頂くことができました。このコンテストは、長崎という地域が抱える課題の解決や強みを活用する事業を企画・運営するための条例を提案するというものです。114組に及び応募の中から第1次審査を通過した11組が、会場となった活水女子大学東山手キャンパスで、それぞれの提案をプレゼンテーションしました。本校からの3組は以下のような結果となりました。

○高校Ⅲ年特進コース探究学習(平野怜、山口葉奈、吉塚愛唯)

「昔遊び推奨条例」 優秀賞

○お題解決愛好会(錦織芙蓉、松尾雅香、塚本寧々、瀬川藍瑠、平松ルナ)

「魚を食べて元気になろう in Nagasaki 条例案」 奨励賞、長崎魚LOVERS賞(特別賞)

○高校Ⅰ年特進コース探究学習(末次愛、高木理那、立道虹樂、田丸莉沙子)

「坂の長崎 観光条例!」 奨励賞



高校Ⅲ年特進コース



お題解決愛好会



高校Ⅰ年特進コース

Ⅰ年特進では条例案の探究学習発表会も

このコンテストに先立つ12月16日(水)、高校Ⅰ年特進コースでは条例案をテーマとした探究学習の発表会が開かれ、3つのグループに分れてそれぞれの条例案を提案しました。同コースでは、コンテスト出場の有無にかかわらず、この発表会に向けた取り組みがなされ、それぞれ工夫されたプレゼンテーションが披露されました。先輩や、先生方から講評をいただき、次への課題を確かめました。



今月の聖句

新しい歌を主に向かって歌え。

全地よ、主に向かって歌え。

主に向かって歌い、御名をたたえよ。

日から日へ、御救いの良い知らせを告げよ。

国々に主の栄光を語り伝えよ

諸国の民にその驚くべき御業を。

(詩編 96編1~3節)

主の年2021年を皆さんはどのように迎えたでしょうか。12月31日の真夜中に「3! 2! 1! (午前0時) 明けましておめでとう!」と、新年を迎えた方もあるかもしれません。しかし、新しい年を迎えたその瞬間に、一瞬にして自分に変化が起こるという訳ではありません。一人ひとりが、自分をしっかり見つめ、自分と向き合って、将来を思い描き、さあ一歩を踏み出そうというその時、新しい自分になるのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症には、まだまだ予断を許さない中にありますが、新年を迎えたこの時、それぞれの目標を新たに持って、希望を見失わずに、歩み出しましょう。それが皆さんの新しい歌になるのです。神さまの祝福をお祈りいたします。(石村直義)

クリスマス献金は 178,654円となりました。 ありがとうございました。

*ささげられた献金は次の施設・団体にお送りしました。



日本聾話学校、日本キリスト教海外医療協会、チャイルド・ファンド・ジャパン、日本キリスト教協議会、止揚学園、牧ノ原やまばと学園、清鈴園など全12団体。

1月行事予定
5(火・6(水) 高校冬期課外
7(木) 始業式
11(月) 成人の日
15(金) 高校特別入学試験(自宅学習日)
16(土) 17(日) 大学入学共通テスト
20(水) 高Ⅱ小論文模試
23(土) 中学校B入試
28(木) 高Ⅱ模擬試験
29(金) 高校一般入学試験(自宅学習日)



クリスマス、祈りと奉仕のうちに

2020年12月、感染症の影響で、ページェント（キリスト降誕劇）の中止が決まり、クラス終礼時のハレルヤ（ヘンデル作曲「メサイヤ」第2部23番ハレルヤコーラス）の歌声も無く、寂しく静かな時でした。しかしながら、11月中に全校で取り組んだクリスマスカードは一通づつラミネートし消毒して各施設や卒業生などに送り届けられました。



チャペルのクリスマスリースには毎週1本ずつ加えてロウソクが灯され、クリスマスツリーも每晚美しく輝き、校内各所のクリスマスリースにも励まされました。クリスマス礼拝ではハンドベルの献奏、深澤 奨理事長によるメッセージと祝祷に与り、クリスマス献金を捧げました。困難の中にあっても、恵みの確かさと、闇に輝く光の確かさを思わされました。メリー・クリスマス！（石村直義）

活水祭 ★ Again

中学生が、12月10日(木)にチャペルで、中学英語部・お題解決愛好会の発表と、各学年が行っている「総合的な学習の時間」の報告会を行いました。

2つの部活動は、活水祭の発表を見直して練習を重ね、資料にもさらに工夫を加えた発表となりました。



お題解決愛好会

総合的な学習の時間の報告では、1年生の校外学習の発表を2・3年生は懐かしい思いで聞き、2年生は新しい取り組みとして「職場にインタビュー」



の内容を発表しました。3年生は、動画の作成にも時間をかけて取り組み、また平和への思いがより伝わるよう説明内容を暗記して挑みました。お互いに良い影響を受けた良い会となりました。(浦島明子)

中学2年生総合学習

長崎版画に挑戦

12月16日(水)、高校Ⅲ年生の社会科授業で「長崎版画」を体験しました。授業は2校時目にⅢA英語科と特別進学コースの日本史B選択者10名が、3校時にⅢ年B組・D組の現代社会選択者10名が受けました。

授業目的は歴史の実体験、観光資源の見直しを通し、長崎の魅力再発見です。長崎歴史文化博物館研究員出口様、長崎県文化振興課橋本様に、「長崎版画」の来歴、合羽摺体験をご指導いただき、生徒自身で仕上げる達成感を味わうことができました。(岩永崇史)

生徒感想より

○完成した時の図が全く想像していなかったので完成した時達成感を得られた。機会があったら時間をとってじっくりやりたい。

○思っていたよりも簡単に出来たので小さい子どもたちから大人まで誰でも出来るというのは魅力的。今日作った作品はとても気に入っているのが大切に保管したい。



吹奏楽部定期演奏会、感謝とともに

12月24日(木)長崎ブリックホールにて、「第6回活水中高吹奏楽部定期演奏会」を行いました。

もともと人数制限を設け、準備を進めていきましたが、12月1週目を過ぎたあたりから、長崎市内でもコロナ感染者の数が増え、演奏会1週間前に吹奏楽部保護者70名限定の例年にならぬ演奏会となりました。



しかし、「お客様に楽しんでもらえる演奏会」をモットーに、最後まで選曲や演出を練り直し、練習を重ねました。

当日は、生徒達を一番近くで応援していただいている保護者様に見守られ、生徒達は最高の演奏、演技を成し遂げました。そして6年間この吹奏楽部を全国区に導いていただいた偉大なる藤重佳久先生への思いは「感恩報謝」に尽きません。

定期演奏会をもって3年生は引退しましたが、これからも先輩達が残した偉業に恥じないよう、前進するのみです。

これからも吹奏楽部の応援をよろしくお願いいたします。(杉町たまみ)

アーチェリー、瀬川さん 県大会優勝

長崎県インドアーチェリー大会少年女子の部で、瀬川藍瑠さんが優勝しました。

<高校新体操>

オンライン新体操コンテスト2020

団体 U-18クラス

フープ3&クラブ4 第1位

<中学新体操>

演技披露会 団体 優勝

オンライン新体操コンテスト2020

団体 U-15クラス リボン5 第3位

<課題解決・探究学習>

長崎市主催「図書館を使った調べる学習コンクール」

Ⅲ年特進クラス探究学習

(平野怜、山口葉奈、吉塚愛唯)

「南海トラフ地震・富士山噴火」 優秀賞

Ⅱ年特進クラス探究学習

(池亀佑香、藤村結、安永未来)

「健康に長生きするために」 優秀賞

アンサンブルコンテスト金賞、県代表に

長崎県アンサンブルコンテスト高等学校の部で、吹奏楽部の金管8重奏が、金賞および県代表として九州大会(2月・宮崎県)への推薦を受けました。

<音楽>

シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA

北海道・東北地区大会 高校生部門

予選合格 松本英姫

<放送>

九州高校放送コンテストアナウンス部門

優良賞 寄田愛莉

<写真>

長崎県高等学校総合文化祭県写真展

最優秀賞・全国大会(来年度和歌山県で開催)

出場への推薦 塚本寧々

<平和学習>

長崎平和推進協会主催 アジア青少年平和交流事業「自分たちが考える国際・平和交流プログラム」事業採用 活水高校平和学習部